

平成31年度 河川砂防技術研究開発公募
地域課題分野 新規課題 研究開発テーマ

テーマ名および概要		研究代表者名
テーマ	低コスト浸水センサーの開発・活用による居住者への緊急通知、および面的な浸水情報による防災活動支援方策に関する研究	東京大学 猪村 元
概要	低コスト浸水センサー開発・活用による面的な浸水情報に基づく防災活動支援方策、及び、居住者への緊急通知技術の研究	
テーマ	避難促進のための防災Go!プロトタイプの開発	福岡工業大学 上杉 昌也
概要	発災直前の住民の避難の向上を目指し、緑川空間情報マップをベースに現地に行くと得点するゲームアプリのプロトタイプを開発する。	
テーマ	四万十川支川の中筋川における効率的な河道内樹木管理技術の構築	高知工業高等専門学校 岡田 将治
概要	四万十川支川の中筋川を対象に、河道内樹木の繁茂状況をUAV、マルチスペクトルカメラ等で計測して流下能力の時空間変化を簡易に把握し、効率的に管理を行うことのできる技術を構築する。	
テーマ	急流河川流域における水害版BCPの河川計画・管理への実装可能性に関する研究	富山県立大学 手計 太一
概要	本研究の目的は、これまでほとんどデータや情報が集約されていない急流河川を対象に、水害版BCPを将来の河川計画や防災計画に実装する方法を検討することである。	
テーマ	氾濫原水域保全・再生に資する物質循環および水生生物相とその分布経緯の解明	北海道大学 根岸 淳二郎
概要	堆積底泥が水質形成に果たす役割および生物や食物網への影響の解明、物質循環・食物網・生物生息環境を連関した概念・予測モデルの作成を行う。	
テーマ	大井川流砂系土砂管理に向けた支川土砂流入量評価方法の提案	名城大学 溝口 敦子
概要	土砂生産場の特徴を踏まえた支川土砂流入量評価方法の提案を目指し、大井川中下流域を対象に現地調査等を実施する。	
テーマ	アンサンブル気象予測情報の時間変化に着目した洪水管理への利用手法の開発	京都大学 山口 弘誠
概要	アンサンブル気象予測情報の更新履歴を活用して、最悪ケースとして想定される降雨量予測などの防災情報を創出する。	

(氏名五十音順, 敬称略)